

一般質問

道路整備について

通学路の歩道整備促進を！

質

七尾中学校前の市道徳田303号線の歩道が、令和2年度末までに藤橋ハイパスまで完成予定と聞いている。しかし、通学路に指定されている国分町の半田、山下地区は、大雨が降ると川があふれ、道路にも濁流が流れ出す。中川原町の踏切付近から八幡町の旧農協牛乳までの市道徳田131号線に歩道を整備する考えはないか。

八幡町から下町にかけて、七尾中学校や朝日小学校の通学路になっている市道徳田18号線の計画事業が2年経過したが、今後はどのような予定か。

答

現在、七尾中学校、朝日小学校の通学路対策として、市道徳田303号線と市道徳田18号線の整備を進めている。市道徳田131号線についても、歩道等の連続性を確保するという意味から整備が必要と考えている。まずは現在事業中の市道徳田18号線の整備効果の早期発現に取り組み、整備状況を見ながら今後整備区間と事業着手を見定めていきたい。

市道徳田18号線については、平成25年度から約2キロ間の整備を進めている。現道の幅員11mに拡幅するため、用地取得に努めている。まとまった用地が確保できた区間から順次工事を実施し、1年でも早く全線開通できるようにしたい。

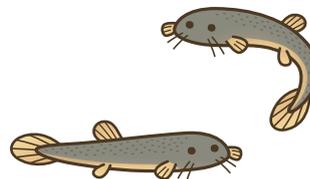
- 【その他の質問項目】
- 七尾市通学路安全プログラムについて
- 鷹合川について



徳田 正則 議員 (新政会)



桂 徹男 議員 (灘会)



一般質問

どじょうの養殖について

どじょうを能登島の特産品に！

質

昨年、株式会社ファーム・エンジンという会社から、温泉の二次利用の事業化を目指し、どじょうのふ化から稚魚の販売、養殖物の販売等、生産から販売まで一貫した事業を実施しているが、能登島の養殖実験は成功したのか伺う。

温泉利用養殖は、泥を使わないので泥臭さが無く、温泉熱を利用するため水槽の温度を一定に保つことで餌の食いが良く、通常一年以上かかるが6か月ぐらいで肉厚で骨が柔らかい成魚になるとのことだった。

現在の場所では狭くお湯の量が足りなくなる懸念もあるが、事業拡大してほしいと思っており、将来的な展望について伺う。

答

昨年4月に1万尾、8月に5万尾の稚魚を入れ、10月から金沢の店舗への試験的な提供を経て、昨年末から出荷を始めたところであり、今のところ順調に成長している。温泉熱を使い、11月から5月まで、成長がどのように進むかを重要な目的として行っており、今のところ成功しているものと思っている。

事業者において養殖を行うハウスを増やしたいとしていることから、今後熱源となる温泉の量の確保を含め、能登島の新たな特産となるように検討していきたい。

- 【その他の質問項目】
- 第2期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- 図書館活動について
- 新型コロナウイルスについて

一般質問

認知症施策の充実について

認知症サポーターのチームオレンジを各町会に！

質

市において、認知症サポーターはどれくらいに増え、どのような活動をしているか。

近隣の認知症サポーターがチームを組み、専門機関と情報共有を図り、そのチーム内で学び合っており、必要とされる支援を行うが、このチームオレンジの取組を各町会単位で取り組めないか。

答

サポーター養成講座は、平成17年度から開催し、令和2年2月まで地域や学校など162回開催しており、延べ5,189人の方が受講している。

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者としてできる範囲で手助けを行うもので、一部地域では認知症力フェや通いの場などの運営に関わっていただいている。

チームオレンジは、養成講座のステップアップ研修を受講した認知症サポーターがチームを組み、認知症の人とその家族の支援活動を行うものである。市では、高齢者等の個別の生活ニーズに配慮する担い手として、各地区で生活介護支援サポーターを養成しており、認知症サポーター養成講座の受講も必須としている。今後、この方々にステップアップ研修を受講いただき、まずはできることから各地区単位でチームオレンジの整備を進めたいと考えている。

- 【その他の質問項目】
- 災害発生時等の情報提供について
- ひきこもりの現状と支援について
- 「摂食障害」の治療支援センターの設置について



伊藤 厚子 議員 (無会派)

